

↓ つづく決算の認定  
 学力向上強化プロジェクト  
 2462万5千円  
 土曜未来塾は、市内8か所で開催38回(199人)《生活困窮世帯7人参加》

公民館事業  
 165万5千円  
 ①地域住民と協働事業  
 ②公民館講座・教室など  
 ③青少年体験活動推進事業  
 ④新成人事業

人権・同和教育推進  
 632万7千円  
 ①解放学級・識字学級  
 ②人権・部落問題研修会  
 ③企業・団体等人権研修会  
 ④公民館分館事業  
 ⑤地区公民館研修会  
 ⑥人権パネル展の開催

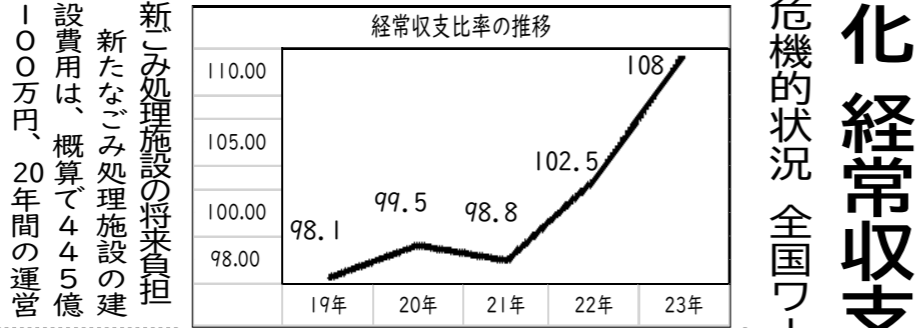
指定文化財維持管理  
 748万9千円  
 ・沖出古墳管理委託  
 ・秋月古八丁越案内板設置  
 ・千手小のケヤキの木保全  
 ・鎌田原遺跡の草刈り  
 ・千手川の甌穴群の草刈り  
 ・古高取山田窯跡周辺除草  
 ・山野の楽、平山獅子舞へ補助金交付

美術館運営管理事業  
 6648万2千円  
 指定管理者制度で運営。空調設備の大規模修繕およびメンテナンスを実施。プール維持管理事業  
 3億7154万9千円  
 (1)サルビアパーク  
 利用者数2万5264人  
 収入875万9千円  
 (2)スライミングプールなつき  
 利用者数7万1834人  
 収入1748万6千円

学校給食事業  
 1億22933万9千円  
 ・実施日数190回  
 ・1日3000食の提供  
 ・給食費年額7060円、7360円を補助  
 ・給食費の収納率99.19%

土木施設災害復旧事業  
 1億3636万5千円  
 ・道路災害復旧82件  
 ・河川災害復旧25件

増え更に財政は悪化する。  
 1700万円以上の支出が  
 20年償還として、毎年2億  
 となる。嘉麻市の負担分は、  
 管理費等、地域振興費(別)  
 744億円(造成費、施工  
 費等は約300億円)で計約  
 100万円、20年間の運営  
 費等は約300億円



新ごみ処理施設建設 各年度(20年償還)負担割の合計(案) (税込み・単位:百万円)

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	小計	30年度~(20年間)	合計
飯塚市	2,225	1,699	1,776	7,978	16,110	29,788	21,817	51,605
嘉麻市	623	475	505	2,235	4,513	8,351	6,118	14,469
桂川町	229	173	186	820	1,658	3,066	2,245	5,311
計	3,077	2,347	2,467	11,033	22,281	41,205	30,180	71,385

建設事業費

新ごみ処理施設建設に係る嘉麻市の実負担額 (-20年償還-案) (税込み・単位:百万円)

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度~(19年間)	合計
一般財源(嘉麻市負担金-地方債)	139	139	190	172	198	0	0	838
地方債償還(元利+利子)	0	7	11	16	74	155	8,409	8,672
交付税措置※	0	5	8	11	52	108	5,886	6,070
実負担額(一般財源+地方債償還-交付税措置)	139	141	193	177	220	47	2,523	3,440

決算の認定 I  
 議会だより発行  
 130万5千円  
 今後の課題として、専門用語、議会用語、行政用語の解説を掲載し、UDフォントを使用する。

出納事務事業  
 918万7千円  
 23年度よりコンビニ・スマホ収納を開始した。

協働のまちづくり推進  
 補助金は、年間最大50万円まで、25団体を補助した。

ふるさと納税事業  
 2億8195万3千円  
 寄附件数3万3043件、寄付額5億円を達成した。

地域整備事業  
 1272万7千円  
 ・小さな拠点形成事業として、4団体に補助金を交付。

男女共同参画推進事業  
 369万2千円  
 ・女性人材バンクの運用と審議会委員などへ女性登用。  
 ・女性相談窓口の相談件数84件、嘉麻女性ホットラインへの相談件数9件。  
 ・嘉麻女性ホットラインは、土曜日と夜間にも対応。

市バス運行管理事業  
 1億3482万5千円  
 利用者数は13万108人で、昨年度比4924人の増。収支UP率20%を達成。

行政区運営事業  
 4246万4千円  
 ・行政区への加入推進チラシの作成。  
 ・自治会活動保険の加入。

千手泉河内地区の事業は、地元委員会の合意形成が不調で白紙になった。  
 ・嘉穂庁舎など跡地は、道路設置に向け排水対策設計業務が完了した。



# 田中よしゆき

議会報告  
 後援会ニュース  
 2024年9号  
 No.65  
 編集発行人  
 嘉麻市議会議員  
 田中 義幸

- 1面 決算認定 I
- 2面 決算認定 II
- 3面 議案審議・補正予算他
- 4面 意見書・一般質問

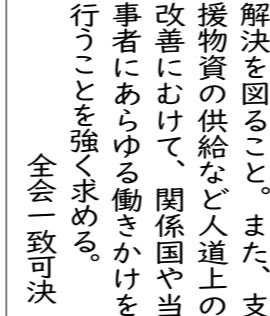
郵便受けに勝手に投函させていたいただきます。  
 議会報告書を不要なお方は、郵便受け付近に置いていただく。次回回収し以降は投函いたしません。

QRコード

教育予算拡充  
 1 学校における働き方改革と、教師の処遇改善をすすめること。  
 2 教育環境整備にむけ、必要な予算を確保すること。  
 3 物価高騰に見合う光熱費、給食食料費、就学援助費等の予算を確保すること。  
 4 学校施設等の開放事業において、必要な予算措置をすること。  
 5 「能登半島地震」からの復興、被災児童生徒の学びの保障に向けた措置を継続的に行うこと。

ガザ地区紛争の即時停戦と平和を求める  
 日本独自の外交関係を活かして、ガザ地区での人質解放や戦闘行為を中止させること。  
 即時停戦において平和的解決を図ること。また、支援物資の供給など人道上の改善にむけて、関係国や当事者にあらゆる働きかけを行うことを強く求める。  
 全会一致可決

住宅訴訟  
 山田さくらが丘団地X号 滞納額 46万1740円  
 山田さくらが丘団地X号 滞納額 37万9980円  
 碓井ノ浦団地X号 滞納額 29万8200円  
 山田山下団地X号 滞納額 26万6700円  
 以上4件の明け渡し訴訟をする。判決の結果、必要がある場合は上訴する。



人権擁護委員に  
 24年12月で任期満了になる樑悦子氏(嘉穂地区中益)を引き続き推薦する。  
 全会一致同意

事故報告  
 事故発生日  
 24年7月3日  
 事故発生場所  
 嘉麻市本庁舎駐車場  
 事故の概要  
 公用車のドアを開けた時、突風によりドアが大きく開かれた。その際、隣接して駐車していた車両の左フロントドアに接触し、賠償責任事故が発生した。  
 賠償額  
 36万5200円

一般質問  
 嘉麻クリーンセンター  
 質 嘉麻クリーンセンターの財産処分はいつしたのか。  
 課長 用途廃止後に、無償で貸付契約を行っている。  
 質 行政財産というのは、公共の用途で使用している財産のこと、普通財産はそれ以外のものである。当時の同センターは、実際に稼働していた公共の用に供していた。行政財産から普通財産に移すためには、その稼働を停止し、用途廃止をしなければいけない。いつ行政財産から普通財産に変更したのか。  
 課長 平成31年2月に条例を廃止した。  
 質 同センターは休業していたのか。  
 課長 平成31年4月からは、ふくおか県央環境広域施設組合の施設として稼働していた。



新ごみ処理施設建設  
 質 施設建設費と運営費込みで744億2700万円になる。そして、このほかに造成工事費が86億8800万円かかる。総工事費は831億1500万円になると思うが。  
 課長 その通りだ。  
 質 これに、30億4200万円の循環型交付金が交付されるので、実際は713億8500万円である。嘉麻市の負担額は、144億6900万円で、過疎債を適用し、30年償還すれば、年間1億4690万円の支出が発生するが。  
 課長 そのような計算になるのかと思う。  
 質 経常収支比率が108%だ。この施設を建設すれば、さらに財政が厳しくなるのではないかと。  
 市長 公共施設であり、払っていかねばならない。他に稲作振興を質問したい。

決算の認定 II

公共交通体系確保事業

23年度の利用者は、路線バスで11万3千人(前年度比1269人増)、デマンドバスは1万6732人(前年度比3655人増)。

通学等補助金制度、第二種免許取得補助制度、西鉄バス路線維持負担金などにより、公共交通の利用促進と維持を図った。

民生・児童委員事業

現在の欠員数10人。相談・支援件数2152件 延べ活動日数6612日

高齢者福祉事業

369万円
・デイサービス事業
・生活管理指導員派遣



絵 熊谷レン

自立相談支援事業

2093万円
生活保護に至る前の生活困窮者に対し、早期に支援をおこなう事業。嘉麻市社会福祉協議会へ委託している。

社会福祉施設運営事業

7026万2千円
・嘉穂老人福祉センター、山田いこいの家「白雲荘」、稲築老人憩の家を指定管理者制度で運営。

価格高騰支援給付金

2億3905万3千円
低所得者へ1世帯3万円を給付した。23年度住民税均等割の非課税世帯へ確認書を発送。23年1月2日以降に転入した人がいる世帯には、申請書(請求書)を発送した。

同業(非課税世帯分)

4億9647万4千円
低所得者へ1世帯7万円を給付した。事業の一部は24年度へ繰り越した。対象数7552世帯 支給数6976世帯 支給額4億8832万円 支給率92.37%

相談(隣保館)事業

2215万2千円
生活上の各種相談や人権に係る相談に応じた。各種教室などの交流事業。

病後児保育事業

347万円
・どんぐり保育所併設「病後児保育室」にこころい「登録者数103人、利用延数49人、利用料無償化。子育て支援センター 215万円 鴨生保育所に併設。利用者数890人(大人410人、子ども480人)

要保護児童対策

7万7千円
児童虐待の早期発見・早期対応につながる。

要保護児童数29世帯

要支援児童数132世帯

敬老事業

1531万3千円
節目節目に敬老祝い金、敬老祝い品を支給した。敬老祝い品支給事業 101歳以上に2万円相当のカタログギフトを46人に支給した。

リサイクル事業

150万4千円
○リサイクル活動団体に奨励補助金を交付した。○各庁舎内で古紙等の回収。回収実績5万4540kg 売却額36万8千円

農業委員会費事業

1736万6千円
(1)農地法準拠許可業務 (2)農業経営基盤強化促進法による利用権設定等の処理 (3)所有権移転

有害鳥獣被害対策費

1240万円
(1)イノシシ614頭、シカ1414頭、アライグマなど576頭、鳥類6羽 (2)有害鳥獣駆除員傷害保険の助成数:64人

侵入柵の整備

10団体 設置距離1万3084m

広域捕獲活動の実施

鳥獣被害対策実施隊活動数:692回

荒廃森林整備事業

5252万3千円
・森林調査 362件 協定確認 43.9ha 強間伐 3.03ha 侵入竹除伐 84ha 植栽 674m

商工業振興費事業

3105万8千円
・商業店舗リフォーム制度 14件、484万1千円 商品開発補助金 6件、102万1千円 起業家へ補助金 5件、971万4千円

空家バンク事業

1723万円
・移住支援金事業(移住相談会、婚活イベント)



絵 熊谷レン

工業団地整備事業

4520万4千円
工業団地整備の事前調査。第一候補地は山野地区。

観光拠点施設管理事業

7171万4千円
・足白ホルダリングセンター利用者数:6197人 足白農泊施設 宿泊者:2092人 会議室利用:505時間

市営住宅滞納整理事業

183万3千円
①明け渡し訴訟 3件 ②強制執行申立 3件

老朽危険家屋等対策

790万円
特定空家などの所有者に改善を働きかけた。所有者などの特定66件 改善通知の送付118件 特定空家解体数18件 (内補助金の活用16件)

定住促進事業

8424万円
・市内 0件 市外 42世帯(142人) 新築および新築購入33件 中古購入 9件

議案審議

教育長に木本氏 再任

24年11月8日で任期満了となる教育長を選任する議案で、木本寛昭氏(牛隈現3期目)を全会一致で同意した。任期は3年間。

マイナンバー改正

マイナンバーに戸籍関係情報を載せる改正。賛成多数(反対)可決

市バス購入

市バスの老朽化で、4台を新たに購入する。購入金額9551万6千円(質)カーボンニュートラルに向け電動車にすべきでは。[答] 走行距離の関係で、燃料車にした。全会一致可決

家庭的保育事業

1人の保育従事者が、受け持つ児童数を減らす議案。全会一致可決

国民健康保険条例改正

健康保険証を廃止してマイン保険証とする議案。賛成多数(反対)可決

放課後児童健全育成

現在児童保育所の利用時間は、8時から18時まで。これを25年4月から19時までとする。延長利用料は、月額100円で月額最大1500円とする議案。全会一致可決

ひとり親家庭等医療費

児童扶養手当施行令の改正に伴うもの。全会一致可決

奨学金条例改正

新たに入学支度金を設けるための改正。下記希望金額を貸し付ける。《高校等区分》 (1)国・公立 5万円 (2)私立 5万円、10万円 《大学等区分》 (1)国・公立 5万円、10万円、15万円 (2)私立 5万円、10万円、15万円、20万円 全会一致可決

後期高齢者医療改正

マイン保険証制度に伴う改正。賛成多数(反対)可決

補正予算第5号

賛成多数可決

旧小学校解体撤去

8376万5千円
旧千手・旧泉河内ならびに旧宮野各小学校を解体撤去するため、アスベスト調査や実施設計をする予算。

嘉穂庁舎内道路改良

6600万円
嘉穂庁舎、大隈体育館への進入道路を整備する。

旅客自動車運送業支援

1242万円
エネルギー価格、人件費高騰に伴う経営支援。《交付見込み》 事業者数 8社、12事業 車両台数101台 財源(地方創生交付金)

貨物自動車運送業支援

608万円
エネルギー価格高騰により厳しい経営状況にある事業者を支援し、負担軽減を図る。《交付見込み》 事業者数 25事業者 車両台数200台

保育所給食費支援事業

969万2千円
私立保育園に対し、給食費を支援する。基本単価 ①主食+副食:1100円 ②副食のみ:650円 対象児童数 ①684人 ②85人 ※主食(ごはん、パンなど)副食(おかず、おやつなど)

定期予防接種委託料

1億1202万3千円
コロナワクチン接種業務委託料。接種対象者は、65歳以上ならびに60歳~64歳で重症化リスクの高い人。接種回数は1回。費用負担は、2100円を予定。接種見込みは8100人。

消防団DX推進

198万円
消防団DXアプリケーションを導入することにより、消防水利の迅速な把握、出動報告の簡素化など負担軽減が期待できる。 ※消防水利とは、消防活動を行う際の消火栓、防火水槽や河川などの水利施設。

保健センター屋上改修

1710万円
稲築保健センターの雨漏り対策として。

かんがい施設修繕料

834万4千円
屏川に設置されている、宮ノ脇井堰および山出井堰の動作不良を修理する。

吉庵地区の市有地分譲

539万1千円
下山田吉庵地区の市有地約4haを、工業団地として分譲する。その準備のため、分筆・不動産鑑定をする。分譲見込調査業務委託 592万9千円

債務負担行為

吉庵地区の市有地を分譲するため、コンサル事業者企業進出の意向調査を委託する。全国1千社以上へ、アナウンスする。 期間は、24年10月~25年9月(予定)

市バス運行業務委託

3億6351万3千円
債務負担行為で、25年から28年までの予算を計上。

決算の認定 III

非常備消防費事業

8537万5千円
消防団員は8人減少。団員の年額報酬、出勤報酬および費用弁償を増額し、支払を個人支給に変更した。

小学校管理

1億0264万2千円
30人以下の少人数指導。1人1台の学習用端末と大型提示装置を活用し、教員のICT化を推進した。

中学校管理

4001万円
いじめ問題調査 X中学校で起きた、重大事態に関する調査報告(弁護士、大学教授など合計5名で構成する調査委員会の報告)をした。 次ページに続く ↓



絵 熊谷レン

23年度の利用者は、路線バスで11万3千人(前年度比1269人増)、デマンドバスは1万6732人(前年度比3655人増)。